

第2回 SDGs住宅賞

# 硝子織維協会会长賞

主催：一般財団法人 住宅・建築 SDGs 推進センター

# 南松山の住居



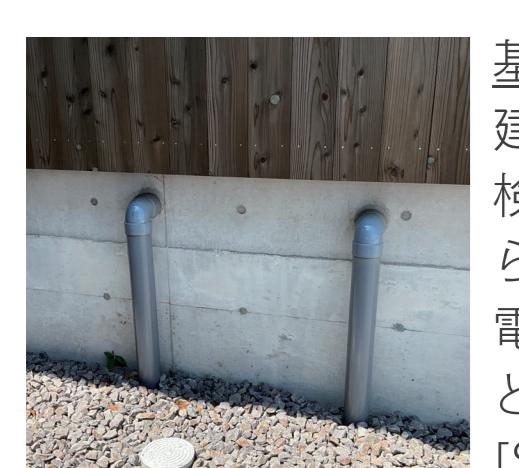
柳生川はこの区間が狭窄部となり、近年では2008年、2023年に氾濫した。交差点が冠水し、周囲の建物は床上・床下浸水にあっている。



太陽光発電 8.9kW+蓄電池 10kW

日々、使用する電気を再生可能エネルギーによりできる限り自家発電・自家消費するとともに、災害時にも自立して発電できる設備を導入している。

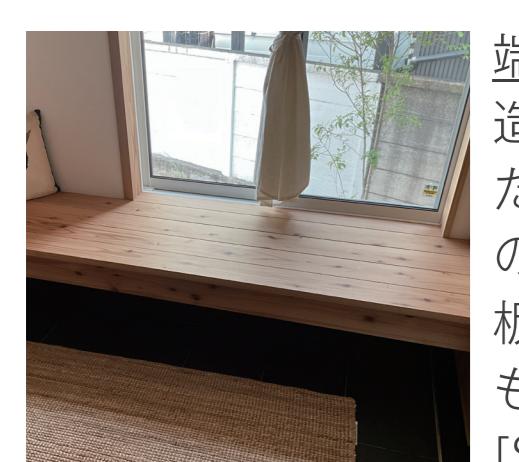
[SDGs ゴール7]



基礎立上りの露出配管

建物外部から目視による配管の接合部の点検ができると同時に、地中の不可視部分からの白蟻の侵入を防ぐため、給排水・ガス・電機等の設備は基礎立上りからの露出配管としている。

[SDGs ゴール11]



端材の積極的な利用

造作のベンチ・カウンターには床材で余った杉板を利用。棚板は9mmの耐力壁合板の切れを捨てずに張り合わせ、18mmの棚板として利用している。外壁の板材の余りも棚板に利用。

[SDGs ゴール12]



羽柄材もヒノキを採用

構造材である柱にヒノキを用いるだけでなく、間柱・窓台・まぐさ、外壁下地の胴縁、垂木など、代替材になりがちな羽柄材にも全て国産材のヒノキを採用している。

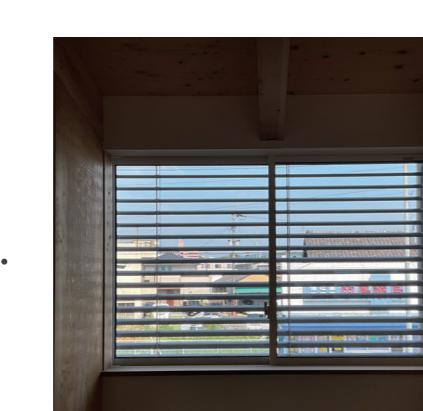
[SDGs ゴール15]



AC 1台での全館空調

冬は1階ベンチ下の壁掛けAC 1台を床下へ吹込む。床下へ行き渡った暖気は吹出口から吹抜けを介し2階へあがる。2階西侧は窓とスノコ床のセットになっていて、冷気が下りてくる。夏はロフトの壁掛けAC 1台で冬と逆回転の対流をつくる。

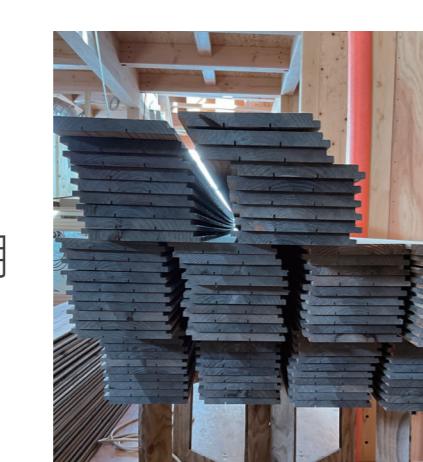
[SDGs ゴール3]



外付けブラインド

東側の連窓は特に夏季の早朝に直射日光が射す。窓の外側に建物と一緒に組み込んだ電動ブラインドによって日射遮蔽し、冷房負荷を低減している。

[SDGs ゴール7]



東三河杉の外装・床

道行く人々の目に触れる外壁に15×135×3,900の杉板430枚を張り上げている。室内で身体に触れる床材に30×135×3,900を350枚使っている。

[SDGs ゴール15]



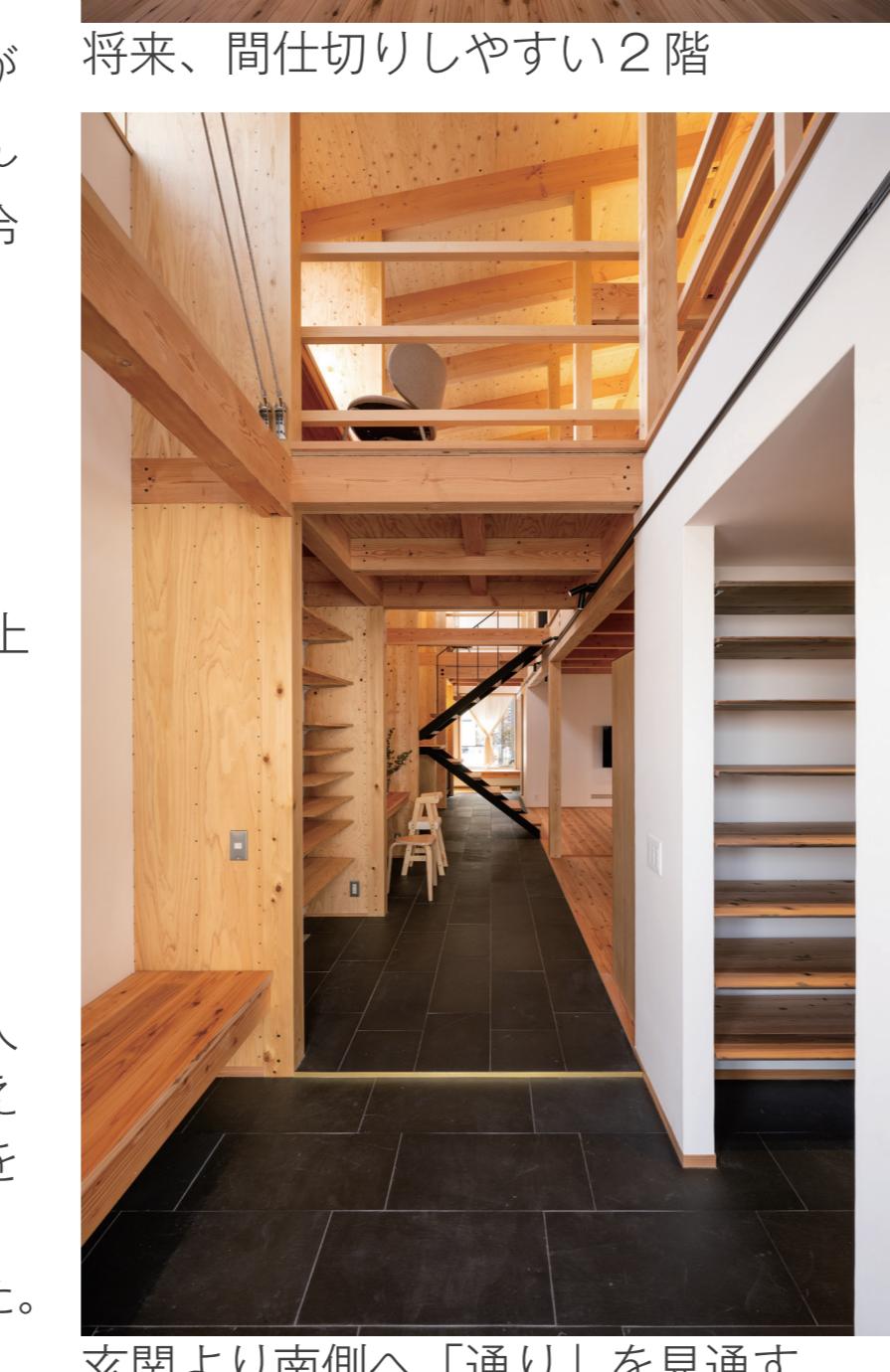
GWで板張り防火構造

準防火地域であるが、国道沿いで多くの人が見る敷地なので、木板外壁の魅力を伝えるため、GW充填+付加断熱の防火構造を利用した。高性能GW16kgを壁t225、屋根t315とし、高い断熱性能を確保した。

[SDGs ゴール3]



将来、間仕切りしやすい2階



玄関より南側へ「通り」を見通す

中心市街地から郊外へと向かう国道が、川を渡る手前の交差点に島のように取り残された街区に建つ住居。国道は片側3.5mの歩道付きで30m程の幅がある。交通量の多い国道と居住空間の緩衝帯として、住居の内部に「通り」を作ることにした。「通り」は幅1.4m、長さ7間、2層吹抜けの石敷きで、国道に対し1階は閉塞し、2階は開口としている。居住空間において感じる車の速さ・音を今では6人家族の住居であるが時が移ろえば人員もできるだけ消し、光だけを取りこんでいる。国道入り替わる。住居ではないものになるかもしれない反対側にも3尺間の裏通りを想定し、この2本の通りの両端を貫通道路で結び、行き止まりのない動線を作っている。

建築を目指した。

東西の両壁面は1間ピッチの耐力壁のリブをつけ、リブの間を各空間に応じたユニットとした。

つ住居。国道は片側3.5mの歩道付きで30m程の

棚や洗面の他にベンチ、カウンターも組込み、「通り」にはみ出せる居場所をあちこちに作った。

内

部は2ヶ所の手洗い以外は建具が無く、棚にも戸

「通り」は幅1.4m、長さ7間、2層吹抜けの石敷

が無い。2階はがらんどう。何も無いが軸組みは

きで、国道に対し1階は閉塞し、2階は開口とし

ている。居住空間において感じる車の速さ・音を

今は6人家族の住居であるが時が移ろえば人員も

できるだけ消し、光だけを取りこんでいる。国道

入れ替わる。住居ではないものになるかもしれない

と反対側にも3尺間の裏通りを想定し、この2本

の通りの両端を貫通道路で結び、行き止まりのな

みを支えることのできる、融通無碍な器としての

い動線を作っている。

建築を目指した。

東西の両壁面は1間ピッチの耐力壁のリブをつ

け、リブの間を各空間に応じたユニットとした。

つ住居。国道は片側3.5mの歩道付きで30m程の

棚や洗面の他にベンチ、カウンターも組込み、「通り」にはみ出せる居場所をあちこちに作った。

内

部は2ヶ所の手洗い以外は建具が無く、棚にも戸

「通り」は幅1.4m、長さ7間、2層吹抜けの石敷

が無い。2階はがらんどう。何も無いが軸組みは

きで、国道に対し1階は閉塞し、2階は開口とし

ている。居住空間において感じる車の速さ・音を

今は6人家族の住居であるが時が移ろえば人員も

できるだけ消し、光だけを取りこんでいる。国道

入れ替わる。住居ではないものになるかもしれない

と反対側にも3尺間の裏通りを想定し、この2本

の通りの両端を貫通道路で結び、行き止まりのな

みを支えることのできる、融通無碍な器としての

い動線を作っている。

建築を目指した。

東西の両壁面は1間ピッチの耐力壁のリブをつ

け、リブの間を各空間に応じたユニットとした。

つ住居。国道は片側3.5mの歩道付きで30m程の

棚や洗面の他にベンチ、カウンターも組込み、「通り」にはみ出せる居場所をあちこちに作った。

内

部は2ヶ所の手洗い以外は建具が無く、棚にも戸

「通り」は幅1.4m、長さ7間、2層吹抜けの石敷

が無い。2階はがらんどう。何も無いが軸組みは

きで、国道に対し1階は閉塞し、2階は開口とし

ている。居住空間において感じる車の速さ・音を

今は6人家族の住居であるが時が移ろえば人員も

できるだけ消し、光だけを取りこんでいる。国道

入れ替わる。住居ではないものになるかもしれない

と反対側にも3尺間の裏通りを想定し、この2本

の通りの両端を貫通道路で結び、行き止まりのな

みを支えることのできる、融通無碍な器としての

い動線を作っている。

建築を目指した。

東西の両壁面は1間ピッチの耐力壁のリブをつ

け、リブの間を各空間に応じたユニットとした。

つ住居。国道は片側3.5mの歩道付きで30m程の

棚や洗面の他にベンチ、カウンターも組込み、「通り」にはみ出せる居場所をあちこちに作った。

内

部は2ヶ所の手洗い以外は建具が無く、棚にも戸

「通り」は幅1.4m、長さ7間、2層吹抜けの石敷

が無い。2階はがらんどう。何も無いが軸組みは

きで、国道に対し1階は閉塞し、2階は開口とし

ている。居住空間において感じる車の速さ・音を

今は6人家族の住居であるが時が移ろえば人員も

できるだけ消し、光だけを取りこんでいる。国道

入れ替わる。住居ではないものになるかもしれない

と反対側にも3尺間の裏通りを想定し、この2本

の通りの両端を貫通道路で結び、行き止まりのな

みを支えることのできる、融通無碍な器としての

い動線を作っている。

建築を目指した。

東西の両壁面は1間ピッチの耐力壁のリブをつ

け、リブの間を各空間に応じたユニットとした。

つ住居。国道は片側3.5mの歩道付きで30m程の

棚や洗面の他にベンチ、カウンターも組込み、「通り」にはみ出せる居場所をあちこちに作った。

内

部は2ヶ所の手洗い以外は建具が無く、棚にも戸

「通り」は幅1.4m、長さ7間、2層吹抜けの石敷

が無い。2階はがらんどう。何も無いが軸組みは

きで、国道に対し1階は閉塞し、2階は開口とし

ている。居住空間において感じる車の速さ・音を

今は6人家族の住居であるが時が移ろえば人員も

できるだけ消し、光だけを取りこんでいる。国道

入れ替わる。住居ではないものになるかもしれない

と反対側にも3尺間の裏通りを想定し、この2本

の通りの両端を貫通道路で結び、行き止まりのな

みを支えることのできる、融通無碍な器としての

い動線を作っている。

建築を目指した。

東西の両壁面は1間ピッチの耐力壁のリブをつ

け、リブの間を各空間に応じたユニットとした。

つ住居。国道は片側3.5mの歩道付きで30m程の

棚や洗面の他にベンチ、カウンターも組込み、「通り」にはみ出せる居場所をあちこちに作った。

内

部は2ヶ所の手洗い以外は建具が無く、棚にも戸

「通り」は幅1.4m、長さ7間、2層吹抜けの石敷

が無い。2階はがらんどう。何も無いが軸組みは

きで、国道に対し1階は閉塞し、2階は開口とし

ている。居住空間において感じる車の速さ・音を

今は6人家族の住居であるが時が移ろえば人員も

できるだけ消し、光だけを取りこんでいる。国道

入れ替わる。住居ではないものになるかもしれない

と反対側にも3尺間の裏通りを想定し、この2本

の通りの両端を貫通道路で結び、行き止まりのな

みを支えることのできる、融通無碍な器としての

い動線を作っている。